

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和5年第4週（令和5年1月23日～令和5年1月29日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・第4週は、梅毒の報告が8件ありました。第4週までの累積報告数は44件で、昨年同時期（23件・速報値）より多い状況です。福岡県における昨年1年間の梅毒の累積報告数は567件（速報値）で、1969年以降で最多となりました。令和5年は、昨年を上回るペースで増加しているため引き続き注意が必要です。梅毒は、主に性的接触によって感染するため、感染を防ぐために避妊具（コンドーム等）を正しく利用し、適切な検査・治療を受けることが大切です。詳しくは、福岡県HP「【注意！】梅毒の感染者が例年に比べてとても増えています（症状に関する写真も掲載しています）」（<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/baidoku2018.html>）をご覧ください。
- ・福岡県感染症情報ホームページ（http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/）では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	9	27	150	452
レジオネラ症	1	6	23	86
アメーバ赤痢	1	2	4	12
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	5	19	70
梅毒	8	44	137	501
百日咳	1	2	6	20

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

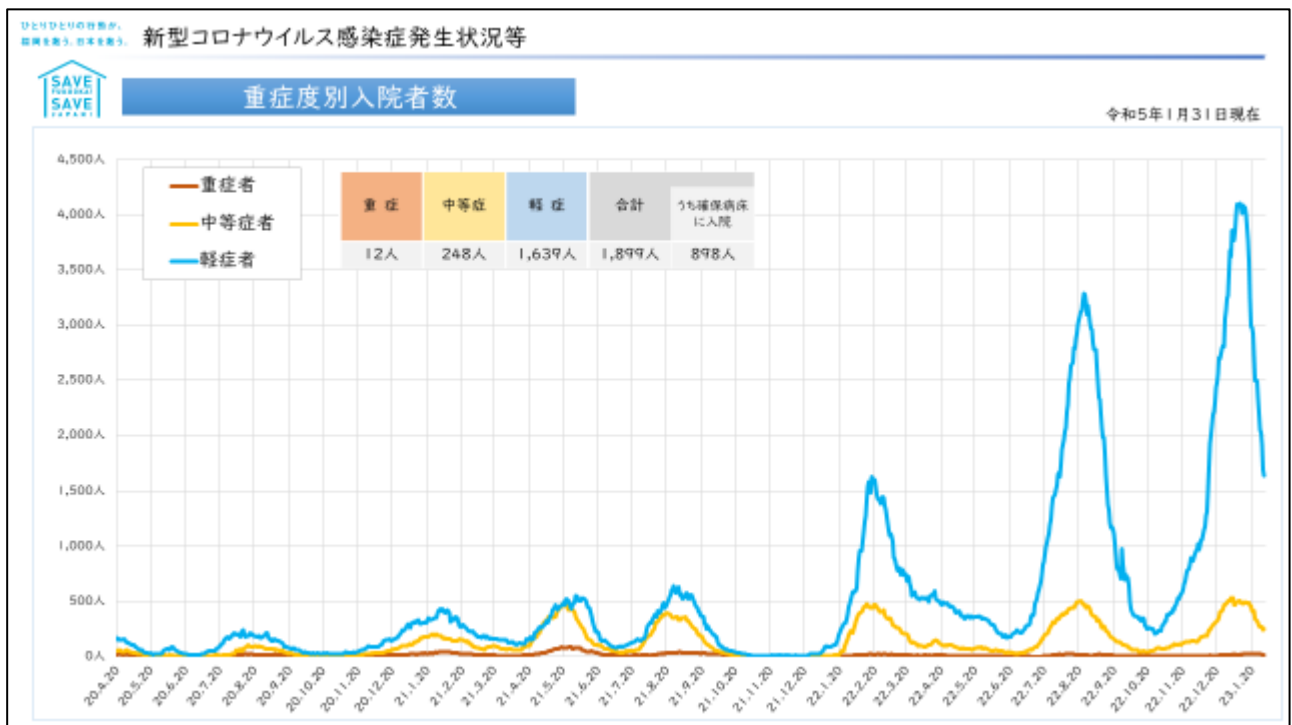
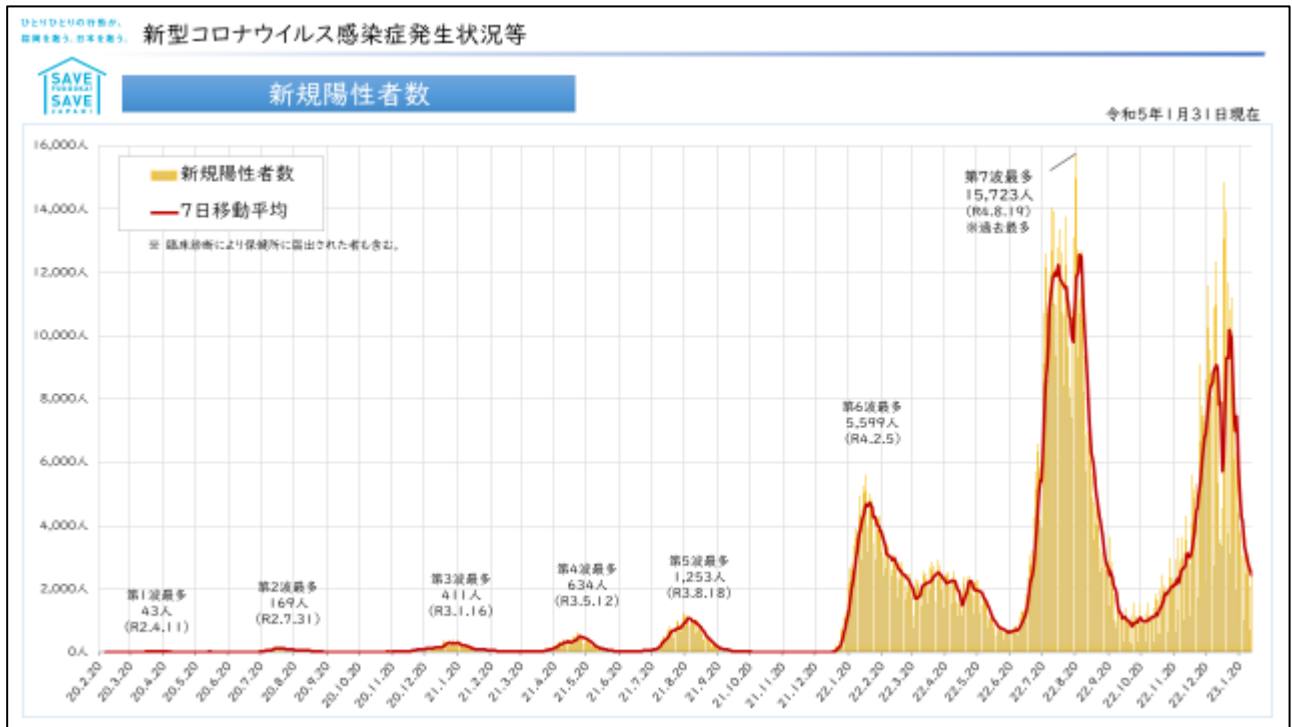
■ 定点把握疾患報告数

■：警報レベル

■：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ（注意報レベル）	4,296	21.70	1.05	47,366	9.59
RSウイルス感染症	44	0.37	0.72	907	0.29
咽頭結膜熱	19	0.16	0.83	385	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	115	0.96	0.76	1,257	0.40
感染性胃腸炎	634	5.28	0.77	24,263	7.71
水痘	14	0.12	1.17	232	0.07
手足口病	37	0.31	1.12	332	0.11
伝染性紅斑	0	0.00	-	16	0.01
突発性発しん	39	0.33	0.93	748	0.24
ヘルパンギーナ	43	0.36	1.13	189	0.06
流行性耳下腺炎	2	0.02	1.00	84	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	5	0.01
流行性角結膜炎	3	0.12	0.75	145	0.21
細菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	7	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	7	0.01
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	6	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	2	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	1	0.00

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>